

R18

あ好き
がも
れも

あこがれも
好きも

卒業後のはるりんです。



凜……

七ヶ所



お前に憧れて
来たんだ

俺はずっと



七ヶ所



あいつはあの時
清々しい笑顔で
そう言ったけれど

俺は
どう反応すれば
いいのかわから
なかった



よお

どろろ
どろろ
どろろ

この鳴らし方は
まさか...

どろろ
どろろ



凜...?!



いいのか
寄り道して

ああ
言ってるから

二子先生
ニコノ先生



いつ
オーストラリアから
戻ってきたんだ？

今日だよ
年末年始は
実家戻るから
そのついでに



てかお前に
言おうとしたのに
繋からなかった
んだよ！

えっ



まあ…

嬉しいサプライズ
だったけど…



俺には
何も言わない所が
お前らしいよな

う
うるせー



…充電
切れてた

ちっぽいな

よく
ここが
わかったな

真琴も呼んだけれど
先輩との付き合いが
断れなくて来れねえ
みたいだから

今日は
久々に俺とお前
二人きりに…

真琴に
聞いたんだよ

なるんだけど…

凜…

ななんだよ
急に…

!

お

か、

凛とは高2で
再会してから

二人きりになる度に
キスをするくらいに
関係だった

あのオーストラリアも俺のせいだ…

いわゆる
そういう雰囲気
になったことは
何度かあったけど

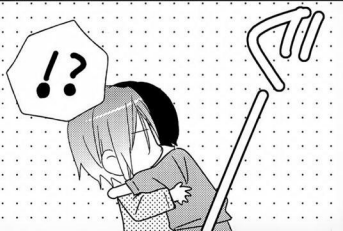
結局最後まで
することはなく
離れ離れに
なっていました

ハル…？
おい…

久しぶりの
凛の感触…

凛の匂い…

!?



なんだよ今の

悪い
俺の腹の音だ

凍を中途半端に
摂取したら
腹が減ってきた

っ
おい!

とりあえず
何か
食うか

あ
…ああ

あいつ…

ポケなんだか
マジなんだか
わかんねえ…

あ

食材
切らしてた…

…お前が来るとは
思わなかったから

う…う

だったらさ

どっか食いに
いかね?

え

お前も
こっちはもう
慣れてきたん
だろ？

近所の
おすすめの店とか
教えてくれよ

洒落た店
なんか
知らないぞ…

いーよ
サバが美味い
店とかで！

サバ

…！

ここかな

子エーン店
かよ！

サバ

さばの
炭火焼き定食
うまいぞ

まあ…
いいけどよ…

ドリンクバー
いってくる

何飲む？

烏龍茶…

ちょっと西屋先輩
彼女いたんだって

ショックだわー

騒がしいな…

あーせっかく
憧れてたのに
なあ〜

あんたとは
住む世界が
違いすぎるんだから
どうでもいいじゃん

ま
そういうもん
だよ〜

住む世界が
違う……

ハル？

サバの
炭火焼き定食
来てるぞ

は、

お前がサバの気配に
気づかないなんて
珍しいな

……どうかしたか？

……どうもしない



へえ〜

一人暮らしなのに
そんなに買って
どうすんだ？

いつもは
こんなに買わない

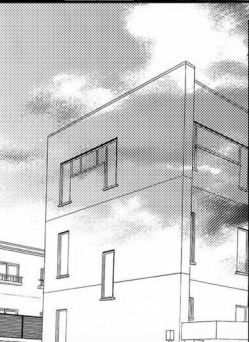


今日は

お前
泊まってくんだろ

…あ

ああ



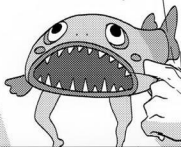
かわいい



あ じゃあ
家戻るのが
遅れるって
連絡しとく

おい
ハル！

お前また
この変なTシャツ
用意しやがって…



凧専用
だから
な

お前と
似てるし
…

勝手に
決めてんじゃねーよ！
ヒキキキ

お前が毎回
服貸せって
言うからだろ

…嫌だったら
上着着とけよ

あゝ
そーさせて
もらうぜ

この水もらって
いいか？

いいけど…
飲みかけだぞ

ん別に

どすそ
かみいり！





しっかし…

ここ
あんまり前と
雰囲気
変わんねーな

…そうか？

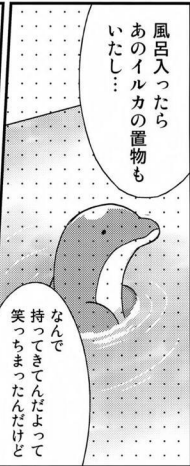


でもさ

はは

あーここ
ハルんちの風呂
だーって
思ったんだ

初めて来たはず
なのにな



風呂入ったら
あのイルカの置物も
いたし…

なんで
持ってきてんだよって
笑っちゃったんだけど



あれを見ながら

いつもお前の事
思い出してるとか
言えない…

俺…
好きだったんだ

ハルの家

懐かしい
空気がしてさ

どき

だから
新しい部屋も
ハルらしくて
なんか
安心した

……

前より全然
狭いけどな

これくらいで十分だ

あー…
そうだな…

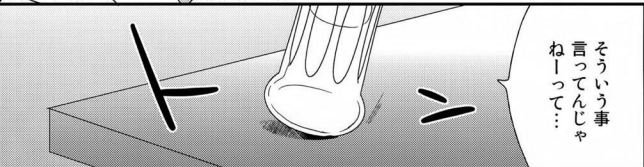
布団はひとつ
あれば
いいもんな…





いや
狭くても
布団二枚敷く位の
余裕ならあるぞ

前に真琴と渚と怜が
一緒に来た時も
なんとかあったし…



そういう事
言ってるじゃ
ねーって…



凜…



ただ寝るだけの
ために泊まった
わけじゃねえよ

…わかってる

けど…

わかんたら

…なんだよ?

お前
俺に憧れてきた
って
言ってただろ

…ああ

好きと
あこがれて
イコールじゃ
ないよな

憧れてるって
感情は

一緒になりたい
わけじゃ…
ないだろ


なに…言ってるんだよ

…俺さ

お前のこと
憧れてきたって
言ったけど

それ以上に


お前が
欲しかったんだ



俺 自分で言うのも
なんだけど
貪欲だからな



…ああ



お前のことが
欲しかったから
ずっと追いかけて
来たんだ

一緒にリレーも
出来たし

これからも
泳いでくれるって
言ってくれて
すげえ嬉しかった

お前の未来を決める一端に
少しでも俺が
関わったってことが…



…でも



もっど...

もっと
欲しかったら
ダメか...?



ん

.....

おい
ハル
こっち見ろ

...嫌だ



向いたら
俺…

凜のこと…

めちやくちやに
するかも
しれない…

……



すりや
いいだろ…

は…









凜のここ…
もう
ぬるついでる

し 仕方ねーだろ

ハルがあんなとこ
しつこくなめるから…



あっ…

ん…



あちよ

そんな…
したら…

で…

うあ…っ



気持ち
よかったか…?



わ…
わかん
ね…

こんなこと
されんの
初めてだし…



あ…

は…

出して…
いいから…

じゅん

じゅん



じゅん

ん…

んんっ…

じゅん…

はあ…
え…

俺も…
お前の
する…

はあ…



真面目に落ち込んだり
したんだぜ…

あん時
やっぱこいつ
水相手じゃないと
ダメなのかって



い…
い…

オーストラリアの夜に
勃たなかっただろ

じゅん



…





はま…

はま…

ふあ…っ

あ…
ああ…っ

しゅわ

しゅわ
しゅわ



あ…なんんか
へん…



気持ち
よみまじ…

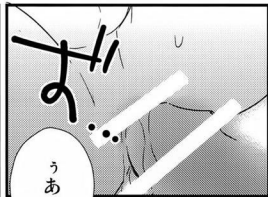
凍の中…
やわらかい
んだな…



あ…ん…っ
さっき…
風呂場で…

は…
少し…
準備したから…

しゅわ
しゅわ





あっ

……っ

あっ…



ん…

ん

り

ん…



すき…

だ…

ルウ…ッ

…

あっ
あ
あ

あぁ……

俺だつて

夢にまっすぐに進む
お前に憧れていたんだ

心の何処かで
距離を感じていた



涙のあと…



あ…



でも
今は

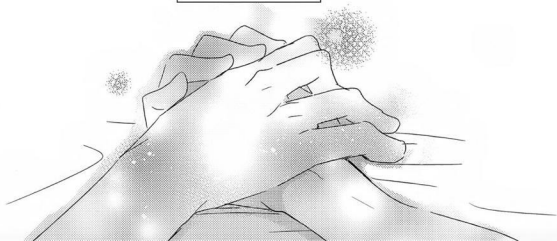




どんなに遠くに
離れたとしても



俺の夢の
隣には
お前がいる



翌日

ふー
ふー

あ..

凜..
もしかして
あんまり
眠れなかったのか？

まあ..な..

カクシキ
リツキ

バカな..

深海の底に沈むように
深く眠れるという
あのTシャツを
着てたはずなのに..？

まあ
脱いだからな

っーか
腰がいてえんだよ..

..!

んん

こんにちは、あつこです。

ここまで読んで下さいましてありがとうございました。

すいません…卒業後というのに水泳のすの字も出てこない内容で…。

内容的に高校生でよかったんじゃと後から思ったんですが

最初に東京の遙さんちの四畳半でHという目標を立ててしまったためなんだかなという感じに。

あと冬なのに寒そうなのは最初は夏くらいのもりだったからです。

あーでも私はやっとはるりんのいちゃいちゃHが描けてとっても楽しかったよ。

凛ちゃん18歳のお誕生日おめでと～！



好きも
あこがれも

2015年2月1日初版

2015年2月15日第二版

あつあつCOOK/あつこ

<http://chaco.chu.jp/atsu2/>

atsuko_katagiri000@yahoo.co.jp

Pixiv ID:650723

印刷:丸正インキさま

無断転載・複製・ネットオークションへの出品は固く禁じます。



Free!FanBook#05
Haruka.N*Rin.M
AtsuAtsuCook Presents